

# 北薩感染症情報

## 2024年第14週(4月1日~4月7日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

### 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中    ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	173	65	9.29	↓	○	86	30	6.00	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	29	18	2.57	↓	—	26	17	3.40	↓	—	
小児科定点	RS	—	—	—	1	—	—	↓	—	3	1	0.33	↓	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	25	32	8.00	↗	◎	16	16	5.33	→	◎	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	8	1	0.25	↓	—	19	9	3.00	↓	—	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	26	23	5.75	↓	—	16	5	1.67	↓	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	—	1	0.25	↗	—	1	—	—	↓	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—		
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	△	△	△	→	△	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	3	3.00	→	—	△	△	△	→	△	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	—	—	—	—	—	△	→	—	—	△	△	→	—		
指定医療機関からの COVID-19入院報告	—	—	—	3	—	△	↓	—	1	—	△	↓	—		
報告数合計		—	—	—	269	143	△	↓	△	168	78	△	↓	△	

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル)
- ・出水保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				5W	6W	7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	11.00	9.86	8.57	9.00	6.43	15.86	18.57	27.43	24.71	9.29
	COVID-19	—	—	34.71	18.00	14.86	10.43	10.00	11.43	8.71	4.43	4.14	2.57
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	—	0.25	—	0.25	0.25	0.25	0.75	0.25	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	11.50	13.25	10.25	10.25	9.00	6.50	7.00	8.25	6.25	8.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.25	3.00	3.25	4.50	2.00	2.75	1.25	1.50	2.00	0.25
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	10.00	9.00	8.75	4.50	3.75	8.50	11.25	7.25	6.50	5.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	0.25	0.50	0.25	—
	手足口病	5.00/2.00	—	1.75	0.50	—	0.25	—	0.25	0.25	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.50	—	0.50	0.50	1.00	—	0.75	—	—	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	6.00	6.00	5.00	8.00	6.00	7.00	4.00	4.00	3.00	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				5W	6W	7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	15.00	17.20	12.80	10.20	11.60	14.00	9.60	9.20	17.20	6.00
	COVID-19	—	—	25.40	12.20	10.20	4.20	3.40	4.80	4.20	4.40	5.20	3.40
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.33	—	0.33	—	—	0.33	0.33	—	1.00	0.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	10.00	6.33	7.00	2.33	4.67	4.67	8.67	5.00	5.33	5.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	10.67	4.67	6.67	8.33	5.67	4.00	8.00	5.00	6.33	3.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	8.67	4.00	4.00	5.33	5.00	6.33	5.00	4.00	5.33	1.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	0.33	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.67	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	0.33	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第14週に関して、川薩地域においてはインフルエンザの報告数が、出水においてはA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が注意報・警報レベルを下回りました。咽頭結膜熱においてはどちらの地域でも引き続き報告数が多いままです。全体的な感染報告数は減少しましたが、新学期も始まり、感染の機会が増えるかと思えます。今年度も元気に過ごせるよう、睡眠や栄養をしっかりととり、手洗いや咳エチケットなど、感染対策と感染拡大防止を日頃から心がけましょう。

インフルエンザの報告数が  
再び増加中です！！

・飛沫感染  
・接触感染

## インフルエンザの注意報が出されました！

インフルエンザは普通の風邪症状に加え、38℃の熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感が急に現れる感染症です。A型やB型の場合、潜伏期は1～3日です。

咳やくしゃみ、会話等の際に口から発せられた飛沫とともに放出されたウイルスが鼻やのどの粘膜に付着したり、吸い込まれたりして感染します。また、感染者が咳やくしゃみを手で押さえた後や鼻水を手で拭いた後に、机やドアノブなどの共有物に触れ、その付着したウイルスに未感染者が手で触れ、その手で鼻や口に触れることによって感染します。

感染の仕方を学び、流行している感染症に対する適切な感染対策をしましょう。

## どうやって感染するの...？



### 3つの咳エチケット

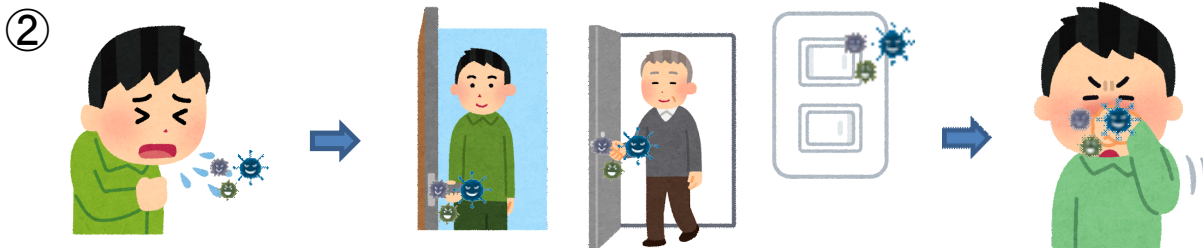
電車や職場、学校など  
人が集まる場所でやろう



マスクを着用する  
(口・鼻を覆う)    ティッシュ・ハンカチで  
口・鼻を覆う    袖で口・鼻を覆う



何もせずに  
咳やくしゃみをする    咳やくしゃみを  
手でおさえる



①感染者の咳やくしゃみなどで出た飛沫を吸い込む(飛沫感染)

②ウイルスに汚染されたところを手で触れ、その手で粘膜(口や鼻など)に触る(接触感染)

## 正しいマスクの着用



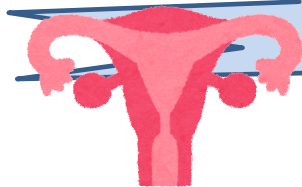
① 鼻と口の両方を  
確実に覆う

② ゴムひもを  
耳にかける

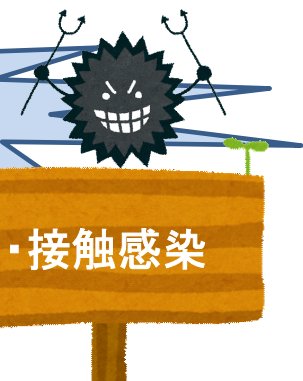
③ 隙間がないよう  
鼻まで覆う

学校保健安全法で、**出席停止期間**が定められています。  
インフルエンザの診断がついたら、  
学校や幼稚園・保育園に**速やかに報告**しましょう！





子宮頸がん予防ワクチンの接種は  
お済みですか？



・接触感染

## 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)とは？

子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)とは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を予防するワクチンです。ヒトパピローマウイルスは性的接触のある女性であれば50%以上が一生に一度は感染するとされている一般的なウイルスですが、一部の人ではがんになってしまいます。

現在、小学校6年生～高校1年生相当の女子を対象に定期接種(公費)が行われています。公費で接種可能なHPVワクチンは3種類あり、一定の間隔を空けて合計2回または3回接種します。どの種類を接種するかは医療機関にご相談ください。



## 平成9年度生まれ～平成18年度生まれの女性の方へ

HPVワクチンは平成25年度に定期接種となりましたが、接種後に広範囲な慢性の疼痛や運動障害を中心とする多様な症状が特異的に現れたことから、積極的な接種推奨を一時的に差し控えをしておりました。その後、ワクチンの安全性について特段の懸念がないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると判断された事から、ワクチンの接種推奨の差し控えを終了しました。

また、その差し控えにより、接種機会を逃した方へのキャッチアップ(令和4年4月～令和7年3月の間)接種も実施されることになりました。

効果とリスクについて確認し、ご検討ください。

### ～対象者～

- ・平成9年度(1997年4月2日)生まれ～平成18年度(2007年4月1日)生まれの方
- ・過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方

【HPVワクチン接種後の主な副反応】

発生頻度	2価ワクチン(サーバリックス®)	4価ワクチン(ガーダシル®)	9価ワクチン(シルガード®9)
50%以上	疼痛*、発赤*、腫脹*、疲労	疼痛*	疼痛*
10～50%未満	掻痒(かゆみ)、腹痛、筋痛、関節痛、頭痛など	紅斑*、腫脹*	腫脹*、紅斑*、頭痛
1～10%未満	じんましん、めまい、発熱など	頭痛、そう痒感*、発熱	浮動性めまい、悪心、下痢、そう痒感*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	知覚異常*、感覚鈍麻、全身の脱力	下痢、腹痛、四肢痛、筋骨格硬直、硬結*、出血*、不快感*、倦怠感など	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感、硬結*など
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	失神、嘔吐、関節痛、筋肉痛、疲労など	感覚鈍麻、失神、四肢痛など

サーバリックス®添付文書(第14版)、ガーダシル®添付文書(第2版)、シルガード®9添付文書(第1版)より改編

\*接種した部位の症状

※詳細は厚生労働省ホームページまたはお住まいの市町村へお問い合わせください。



## 子宮頸がんの現状

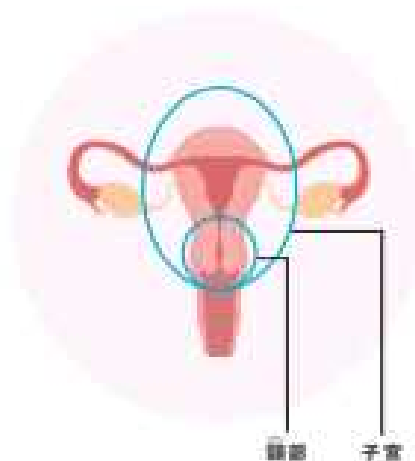
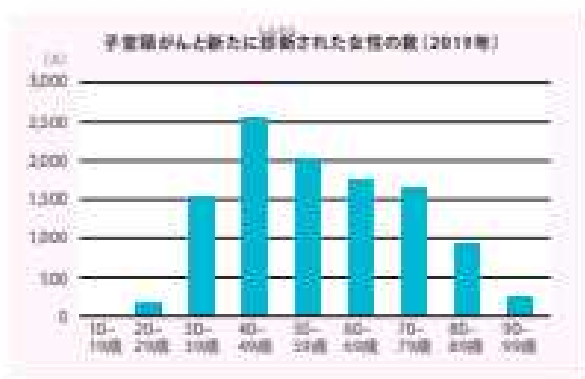
子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。

子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。

日本では毎年、約1.1万人の女性がかかる病気です、さらに毎年、約2,900人の女性が亡くなっています。

患者さんは20歳代から増え始めて、

30歳代までにはがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。



出典: 国立がん研究センター がん対策センター, 2019年がん統計年報に基づいた資料(資料1)より。2020年厚生労働省発表資料より。2021年厚生労働省発表資料より。2022年厚生労働省発表資料より。

厚生労働省のホームページでは、  
HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚労省 HPV



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。



2024年2月改訂版

【平成9年度生まれ～平成19年度生まれ】までの女性へ

大切なお知らせ

HPVワクチンの接種を逃した方に  
接種の機会をご提供します



公費による接種は

2024年度末(2025年3月末)まで

接種は合計3回で、完了するまでに約6か月間かかるため、  
接種を希望する方は、お早めの接種をご検討ください。

このご案内は、既に接種を受けた方にも届くことがあります。  
接種を受けたかどうかは、母子健康手帳などでご確認ください。

咽頭結膜熱が引き続き警報レベルです！

・飛沫感染  
・接触感染

## 咽頭結膜熱(プール熱)とは

咽頭結膜熱とは、アデノウイルス(3型, 4型, 7型, 11型等)を原因病原体とする、急性のウイルス感染症です。潜伏期は5~7日であり、発熱, 咽頭炎(咽頭発赤, 咽頭痛), 結膜炎が三主症状です。1年を通して発生し, 昨年度においては川薩及び出水地区で咽頭結膜熱の警報が長く続きました。アルコールは効きませんので, しっかり石けんと流水で手洗いをしましょう。

### Q.咽頭結膜熱にならないためには...?

A.アルコールは効きにくいので, 流水と石けんによる手洗い, うがいを徹底しましょう。また, 感染者との密な接触(タオルの共有なども含む)を避けましょう。

### Q.咽頭結膜熱にかかったら...?

A.高熱が比較的長く(5日ほど)続きますが, ほとんどの場合, 自然に治ります。吐き気, 頭痛の強いときや咳が激しいときは早めに医療機関を受診しましょう。

### Q.学校や幼稚園には行っているの...?

A.学校法で出席停止期間が定められています。主要症状(熱や喉の痛みなど)が消失した後2日を経過するまでですが, 病状により, 感染の恐れがないと認められた場合は例外です。学校や保育園, 幼稚園, 医療機関(かかりつけ医)にご相談ください。



### 『プール熱』の由来

プールでの接触やタオルの共用により感染することがあるため, この病名がつけました。

※現在はタオル共用の減少等の理由より, プール利用における集団感染の報告は見られなくなっています。



全国的にも2023年と2024年における咽頭結膜熱の報告数の上昇が目立ちます！

← 定点あたり報告数(咽頭結膜熱・全国)  
(NIID国立感染症研究所HPより)

感染症対策へのご協力をおねがいします

# ！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

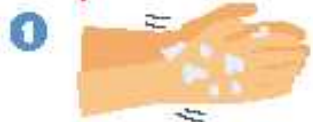
ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

**外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前**などこまめに手を洗います。

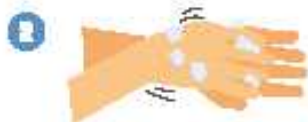
## 正しい手の洗い方

手洗いの  
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



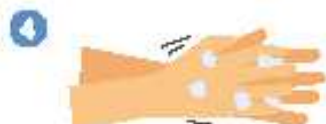
① 流水でよく手をゆらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸

厚生労働省

厚労省

検閲



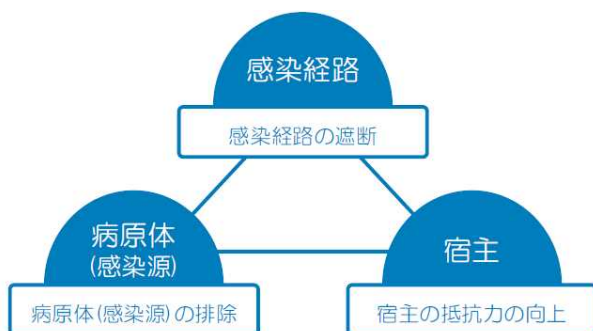


感染症によって感染経路と感染対策が異なります

・空気感染  
・飛沫感染  
・接触感染

## 感染経路とは...？

感染経路とは、病原体が体内に侵入する経路(感染の仕方)のことです。感染対策の原則は「①持ち込まない②持ち出さない③拡げない」が基本です。感染症は①病原体②感染経路③宿主の3つの要因が揃うことで感染します。感染対策においては、これらの要因のうちひとつでも取り除くことが重要であり、特に「②感染経路」の遮断は感染拡大防止のために重要な対策となります。



## 感染対策の原則

感染成立の3要因への対策と、病原体を  
1 | 持ち込まない 2 | 持ち出さない 3 | 拡げない が基本です。



### ・空気感染(ex)結核, 麻疹, 水痘

病原体を含んだ小さな粒子(5ミクロン以下の飛沫核)が拡散され、これを吸い込むことによる感染経路。飛沫核は空気中に浮遊するため、この除去には特殊な換気(陰圧室等)もしくはフィルターが必要となる。

#### 【感染対策】

- ・同じ空間で過ごさない。
- ・どうしても患者のそばで過ごす場合はN95 マスクを着用する。



### ・飛沫感染(ex)インフルエンザ, 風疹, 百日咳など

病原体を含んだ大きな粒子(5ミクロンより大きい飛沫)が飛散し、他の人の鼻や口の粘膜あるいは結膜に接触することにより発生する。飛沫は咳・くしゃみ・会話等により生じる。飛沫は空気中を漂わず、空気中で短距離(1~2メートル)しか到達しない。

#### 【感染対策】

- ・こまめに手指消毒を行う。
- ・サージカルマスクの着用をする。



### ・接触感染(ex)感染性胃腸炎, 咽頭結膜熱, 流行性角結膜炎など

皮膚, 粘膜や創(開放性損傷)との直接的な接触, あるいは中間に介在する環境等を介する間接的な接触による感染経路。

#### 【感染対策】

- ・患部に触れる際は手袋をする。(素手で触れた場合はすぐに手を洗う)
- ・共有のものは定期的に消毒をする。
- ・汚染されたものに触れた後や食事前は流水での手洗いや手指消毒を行う。

